

私立大学図書館協会 2011 年度第 2 回国際図書館協力委員会議事要録

日 時：2011 年 7 月 1 日（金）14：30～17：30

場 所：慶應義塾大学（日吉キャンパス）日吉図書館棟地下 1 階第 1 会議室

出席者：大平龍玄（愛知学院大学）、今村太朗（関西学院大学）、長島敏樹（慶應義塾大学）、
吉兼まり（東京農業大学）、木村千鶴（広島修道大学）、鈴木直子（明治学院大学）

会長校：伊藤秀弥（立教大学）

事務局：酒見佳世（慶應義塾大学）

配布資料

- | | |
|--------------------------------------|--------|
| ① 2011 年度第 1 回搬送事業申請 | 資料 1 |
| ② 2011 年度海外認定研修について（ご案内） | 資料 2 |
| ③ 国際協力基金支援企業一覧 | 資料 3 |
| ④ 1 国際図書館協力基金へのご支援について（お願い） | 資料 4-1 |
| 2 国際図書館協力基金趣意書 | 資料 4-2 |
| 3 2010 年度国際図書館協力委員会事業実績 | 資料 4-3 |
| ⑤ 国際図書館協力シンポジウム実施一覧 | 資料 5 |
| ⑥ 1 2011 年度海外集合研修実施計画案 | 資料 6-1 |
| 2 研修地地図 | 資料 6-2 |
| 3 2011 年度海外集合研修（短期研修）の参加者募集について（ご案内） | 資料 6-3 |
| 4 集合研修募集ポスター | 資料 6-4 |
| 5 海外集合研修参加申込書 | 資料 6-5 |
| ⑦ 海外集合研修実績 | 資料 7 |

報告事項

1 海外派遣研修

今年度のモータンソンセンターでの研修は無事終了。ALA 大会参加後、2011 年 7 月 1 日に帰国の予定。

審議事項

1 寄贈資料搬送事業（資料①）

① 募集結果と採択

今回、応募のあった 2 件（国際大学、京都産業大学）について採択することを決定。

② 関税等、搬送費用以外の経費の支払い

・費用負担の範囲

昨年度の国士館大学によるモンゴルへの寄贈搬送事業に関する関税を今年 5 月に私大図協事務局より支払った。今後、関税等の経費が後から請求されるような場合、10 万円を限度に委員会から支払うこととする。次回の募集要項には、関税負担に関する文章を入れる。

・申請期限

年度末に間に合うよう、毎年度 5 月末日・11 月末日とする。

・見積り

次回以降の見積りについては、費用の内訳の提出を依頼する。

2 海外派遣研修の経費支払い

① 経費をクレジットカードで支払った場合の扱い

→カード支払いの明細を提出してもらう。

② 外貨しか分からない場合の円換算レートの設定

→出発日の属する月の 1 日のレートを採用して計算する。

③ 今年度の派遣者への経費の支払い範囲

→2011 年 6 月 21 日まででモータンソンセンターでの研修は終了。23 日からの A L A 大会参加のため、22 日に開催地であるニューオリンズへ発ち同地で宿泊したが、22

日にもモーテンソンに宿泊した場合は宿泊費が不要であったとのこと。委員会としては、前日に出発することが必要であったと判断し、1日12,000円を上限として、全泊分支払うこととした。

3 海外認定研修（資料②）

- ① 募集案内の改定（成果報告の方法、助成対象＝証憑の原本提出）
申請可能な期間を具体的に明記する。
→今回の募集は2010年4月1日から2011年10月31日までに行った研修とする。
- ② 募集開始時期・締切日
募集案内を改訂し準備が整い次第、募集を開始する。
締切日は2011年11月30日とする。

4 国際図書館協力基金への支援依頼（資料③、④）

- ① 分担の確認
各委員の依頼先の分担を確認した。
- ② 依頼文書の確認
資料4-3の1の表からは見積額を削除する。公印は省略するが、必要な場合は別途対応する。
- ③ 依頼文書の準備が出来次第、事務局よりファイルを送付。その後、依頼を開始する。
- ④ 協賛企業への総会への案内
寄付を受ける際、私大図協総会（毎年、東・西で交互に開催）の案内の送付先を確認し、会長校事務局に連絡する。

5 国際図書館協力シンポジウム（資料⑤）

- ① テーマ
委員会として、まずはテーマを決める。
なるべく現場に近いテーマ・講演者を迎えることとする。
各自テーマを検討し、次回委員会で更に検討を行う。
- ② 開催時期
早くて2012年5月（6月、9月は避ける）に開催する。
私大図協総会の際の海外研修報告の時間を使って開催することも合わせて検討する。

6 海外集合研修（資料⑥、⑦）

- ① 2011年度実施計画案
今年度の海外集合研修の計画案について、委員長より提案があり承認された。募集は詳細が決まり次第、開始する。応募の締切日は2011年9月22日とし、面接日は2011年10月3日とする。
- ② 全国からの参加を考慮し、どこからでも参加しやすくするため、参加費50,000円は不要とする。

【7/7 追記】委員会での決定後、会長校で検討した結果、2011年度海外派集合研修事業は、参加費50,000円を徴収することを前提に予算案が確定しており、今から参加費50,000円の免除を行うのは困難であることが判明した。

- ③ 研修テーマ・研修先決定方法
個人のとつてに頼った研修を今後も継続していくのは難しいと思われる。
今後、研修の委託化、認定研修の拡充等を含めて検討する。

7 その他

- ① NIIからの大学図書館職員短期研修への講師派遣依頼について
日程は、10月7日（金）京都会場、11月18日（金）東京会場。
昨年は2009年度の海外派遣研修の参加者（法政大学の山田氏）が講師として派遣されているが、2010年度は海外派遣研修が行われなかったため、2009年の集合研修参加者である鈴木直子氏（明治学院大学、本委員会委員）に出席可能かどうか確認を依頼した。
- ② 次回開催日時・場所
10月3日（月）13:30～慶應義塾大学日吉キャンパスにて開催する。
尚、合わせて海外集合研修の応募者面接も行う。

以上